

観光は日本産業の一翼 期待される「旅フェア」

日本観光協会会長 中村 徹氏

—— 国の重要な「産業」の一翼としていま観光が脚光を浴びています。日本が観光立国として世界に発信していく方向性などを。

中村 観光庁の「観光立国推進基本計画」の目標達成に向け、観光振興のため、あらゆる施策を策定、取り組んでいます。日本を訪れる観光客も世界的不況とはいえ、いま着実に増えています。

—— 外国人旅行者も近い将来2000万人に、目標は5000万人と掲げてはいいくらいです。それと今年には横浜でのAPEC、そして来たるべく東京サミットと、観光に連動する行事は目白押し、観光客誘致の環境は十分あり、期待できます。

中村 日本は魅力あふれた国です。このことは、私たち日本人が意外に気づいていないんです。海外へ出て改めて日本の良さが分かるんです。ことにいまアジア地域との観光交流の必要性が高まっています。中国からの観光客も大幅に増えました。日本の良さをアンケートでまとめたところ「街が美しい」「商品が多彩」「人がとても優しい」でした。これは観光需要の大きなポイントになると思っています。産業界の不況風を吹き

飛ばし、観光需要の喚起につなげるよう努力します。

—— 地域振興と観光は密接な関係があり、観光が地域活性化の起爆剤として大いに期待されています。

中村 日本の各地には独特の優れた伝統芸能があります。工芸品一つにしても世界に誇るものがありますね。それぞれがどのような「地域づくり」をしていくかは、その地域の手づくりでなくてはなりません。日本の場合にはイタリアやエジプトのようにただ歴史遺産を見てもらおうという訳にはいきません。その地域の市民の活動、そして心からの「もてなし」こそが魅力だといえるでしょう。アジア各地には優れた伝統芸能があり、そこにたずさわる人たちが含めて「観光」になっているんですね。たとえば中国の山間部の少数民族に、いまだ伝統のトンパ文字が象形文字として残っていたり、民族の音楽がそのままの形で伝承されていたり、日本を含め、アジアにはそうしたものが多くあります。これらを互いに大切にし、お互い尊敬し合い、理解し合っていかなければと思っています。

—— 外国からの観光客の受け入

れ態勢はどうでしょうか。

中村 そうですね。やはり一番不安なのは言語の問題でしょうか。このため、観光地の外国語表示をできるだけ多くし、携帯電話に外国語の情報が入ったりなどを工夫して、まずは言葉の問題を解決しなければなりません。たとえば英語をそのまま翻訳できる翻訳機を空港などターミナルに設置するなどあらゆる工夫を駆使、みなさんが日本を訪れ不安のないよう整備するなどです。

—— 「観光」は環境問題とも密接な関係がありますね。

中村 そうですね。観光は自然、そしてもう一つは歴史だと思わなくては。過去の歴史を大きくとらえていく必要がありますね。私共の企画で地域の「お祭り」を大切にしようというのがあります。全国の地域伝統芸能フェスティバルを開くなどです。日本の文化を大切に、これは非常に大事なことだと思っています。当然のことながら自然保護にも連動、環境問題とも大きく関わってきます。また、民間レベルでの国交でもあります。互いの国同士、地域同士の交流で、信頼関係は強固になると思います。その意味でもイン



「旅フェア」「ようこそジ
—— バウンドは基本的目標達成に向け、
がんばるつもりです。訪日外国人旅
行者を誘致する魅力とその能力を高
め、受け入れ態勢を整備していこう
というものです。訪日外国人旅行者
への関心、受け入れ意識は年ごとに
高まっています。かつて温泉地や観
光地で外国観光客が宿泊すると日本
人宿泊客が逃げてしまうといわれま
した。大きく意識変化したと思いま
すが、もっともっと努力が必要です
ね。行政や観光業界だけではなく、
一般市民のかたも一緒に持って外国
人旅行者を歓迎する心を持ちたいで
すね。

—— 「旅フェア」「ようこそジ

「旅フェア」の成果を。
—— ヤパン」キャンペーンの成果を。
中村 1995年からスタートし
た「旅フェア」は過去15回の実績を
誇る国内最大の観光総合見本市です。
この「旅フェア」は常に新しいテー
マを追求し、時代の流れに沿った観
光の在り方を提唱、実施してきまし
た。昨年5月、横浜での「パシフィ
コ横浜」で開かれた旅フェアエ200
9は「日本の笑顔」がテーマでした。
地元三浦市の名産「まぐろの解体シ
ョー」や「ご当地キャラクター撮影
会」を展開、これは幅広い年齢層に
好評でした。
—— 今年の旅フェアはどのよう
な企画の展開になりますか。

—— 今年の旅フェアはどのよう

中村 5月「旅フェア」のホーム
タウンともいえる千葉県千葉市「幕
張メッセ」で開きます。「旅をしたい」
という欲求は誰もが抱いています。
旅に出るきっかけがシルバークワイ
アだったように、「きっかけづくり」
が今後大事だと思います。

—— 「旅フェア」のテーマ「新

旅宣言」を発信されたそうですが。
中村 旅の多様化に対応、観光需
要喚起に直接貢献できる「旅フェア」
を目指し、リニューアルした今回の
「旅フェア」は旅に対する新たな思
いを表現するため、テーマを「新旅
宣言」としたんです。「旅フェア」
が新しい旅人のニーズに対応できる
ようにリフレッシュすること。「旅
フェア」が観光需要の喚起につなが

なかむら・とおる

1958年東京大学法学部卒、同年運輸省入
省。1972年同省航空局監理部国際課長から
鉄道監督局民営鉄道部財務課長、1983
年同省大臣官房政策課長、国際運輸・観
光局次長、同観光局長、運輸政策局長、
運輸事務次官を経て1993年新東京国際空
港公団総裁、2007年社団法人日本観光協
会会長。他に財団法人地域伝統芸能活用
センター会長、成田国際空港(株)顧問な
ど兼職。

るイベントとして根本的な構造を変
えることを「宣言」する一意味を込
めています。「旅フェア2010」
に参加いただき「新旅宣言」のテー
マのもと観光需要の拡大を皆さんと
ともに実現できれば幸いです。

—— 観光とはある意味で、大き

な総合産業だと思うのですが。
中村 その通りです。観光は多く
の産業が関係する裾野の広い産業だ
と思います。したがって観光による
派生効果は無限大にあると思います。
日本は平和国家を目指し「観光立国」
を推進、観光大日本の実現を、そ
して日本の良さを世界中の人に知っ
てもらおうことです。

—— 観光はその国の文化の紹介

だと思のですが。当然、受ける側
の温かいもてなしも必要ですね。
中村 観光は地域活性化に大いに
役立ちます。観光協会としては、自
ら旗振り役になり、行政、経済界、
観光事業者、市民を一体化していく
ことが必要です。地域と連携しなが
ら、観光振興のコンサルティング役
として取り組んでいくつもりです。
観光庁とも連携、新しい時代を切り
拓いていきたいと思っています。